

# ViEW2023 ビジョン技術の実利用ワークショップの論文書式

○令和 太郎 †, ウィリアム・テイラー ‡ (講演者に○を付けてください)

†: 画像科学技術大学理工学部○○学科 (連名者全員の所属をできるだけ詳細にお書きください)

‡: ビジョン技術実利用株式会社 生産技術研究所

taro@image.eng.u-pc.ac.jp (代表者の E-mail アドレスをお書きください)

概要: この文書は標記ワークショップにおいて発表されるカメラレディ (フルレングス版) 原稿書式です。このファイルを直接編集してお使いください。この部分には 200 字程度の論文概要を書いてください。<キーワード>○○○, ○○○, ○○○ (キーワードを 3 語程度お書き下さい)

## 1. 様式

### 1.1. ページレイアウト

余白は上下 22mm, 左右 19mm です。活字サイズはこの原稿書式と同様にしてください。行間は適宜変更して結構です。2 ページ以降は 1 行目から 2 段組にしてください。

### 1.2. ページ数

原稿は 2~8 ページにてご作成ください。また、ページ番号は入れないでください。

## 2. 使用言語

日本語を原則とします。英語の原稿及び発表をお考えの場合には、OpenConf [1] の「お問い合わせ」より事務局へご相談ください。

## 3. 図表

### 3.1. 図表の貼り付け

写真を用いる場合は鮮明なものをお使いください。

### 3.2. 図表の色

フルレングス版原稿は電子データで配布されます。図表のカラーについての制限はありません。

## 4. 査読結果

査読者のコメントは、より良い内容で執筆・発表していただくために有用です。是非ご活用ください。

## 5. 最終提出物

ViEW2023 ではフルレングス原稿を収録した電子版講演論文集を発行します。採択通知を受け取りましたら、以下のものをご準備頂き、再び OpenConf の「ファイルのアップロード」より提出してください。

査読者からのコメントを参考にしつつ、研究の詳細内容を 2~8 ページで記載してください。5MB 以下の PDF とし、ファイル名は「サブミッション ID.pdf」としてください。このフルレングス原稿の提出期間は、**2023 年 10 月 27 日 (金) まで**となります。なお、電子版講演論文集の発刊は **2023 年 11 月 30 日 (木)** となり、**公知日は同日 2023 年 11 月 30 日 (木)** となりますことにご留意ください。

## 6. 参加登録

発表者の方には参加申込をしていただきます。ViEW2023 のウェブページ [2] にアクセスして参加登録をお願いいたします。なお、採録論文に対して最低 1 名以上の参加登録が必要となります。

## 7. 脚注

脚注<sup>1</sup>は適宜お使いください。

## 8. 著者紹介

原稿の最後に著者紹介を入れてください。著者紹介は論文内容に対する責任の明示、内容に関する理解、その後の連絡などにとって有益です。

---

<sup>1</sup>ここにこのように脚注の本文が入ります。

## 9. 参考文献

適切な参考文献は読者によって非常に有益なものです。論文内容の客観性、分野における位置づけなどを示します。参考文献 [3, 4] はこの例のようにカッコで示します。

### 謝辞

(必要であれば記入してください) 本研究は様々な財政的な援助を受けており記して感謝する。

### 補足 1

(必要であれば記入してください) 補足には本文に入れると論旨の展開が損なわれる記述、或いは退屈な証明などを入れます。

### 参考文献

- [1] OpenConf: <https://www.tc-iaip.org/ViEW/2023/openconf/>
- [2] ViEW2023 ホームページ: <http://view.tc-iaip.org/view/2023/>
- [3] 課題好一郎: 広大なインターネット空間を対象とする FA 手法の提案, 日本 FA 学会論文誌, Vol. 3, No. 4, pp. 124-129, 1999.
- [4] 令和太郎: 外観検査課題の検討, ビジョン学会論文誌, Vol.6, No.4, pp.98-105, 1996.

令和太郎: 各著者の簡単な略歴・研究歴, 現在の研究興味などを書いてください。ホームページの URL などにも有益な情報です。

ウィリアム・テイラー: Soho Inc. CEO. 多くの外観検査の自動化システムの設計・施策を行う。代表システムは, IESS, YTI, KEE など。最近は自律ロボットビジョンモジュールの開発を進めている。